

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 07-04-02	事務事業名 女性相談	所管部課 生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
-------------------	---------------	--------------------------------

施策コード 創1-3	施策名 男女平等参画社会の推進	施策目標 女性も男性もお互いに認めあい、対等なパートナーとして協力しあうことができる社会をめざします。
---------------	--------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	女性相談「悩みなんでも相談」「こころの相談」「法律相談」を実施することで、悩みを抱えている女性に寄り添い、解決の糸口をともに探し、女性の人権が尊重され、誰もが暮らしやすい社会の実現をめざす。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 女性であることで感じる生きづらさ、夫からの暴力や家族の問題、人間関係などの悩みをフェミニストカウンセリングの専門知識のある相談員が相談者と一緒に考え、問題解決の糸口を探す。「悩みなんでも相談」月曜・火曜 午前10時～午後1時、午後2時～4時、水曜・木曜 午前10時～正午、午後1時～5時、午後6時～8時、金曜・土曜 午前10時～正午、午後1時～4時、1回の相談時間は予約時間から45分「こころの相談」毎月第2火曜午後1時～3時、「法律相談」毎月第2木曜午前9時～正午	
事業開始時期	14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		943	1,123	1,128	1,205
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債		0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		943	1,123	1,128	1,205
所要人員(B)	人	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,633	1,616	1,616	1,633
臨時職員賃金等(C')	千円	5,738	4,688	4,688	4,688
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	8,314	7,427	7,432	7,526
単位当たりコスト(E)=(D)/(女性相談延相談人数)	千円	13	17	18	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 女性相談時間枠	実績値 時間	1,547	1,526	1,741	1,772
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 女性相談：悩みなんでも相談(月～土)＋こころの相談(月1回・3時間×12ヶ月)＋法律相談(月1回3時間×12ヶ月)					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 女性相談延相談人数	目標値 人				
	実績値 人	626	425	420	
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 平成20年度までは市民会館に相談室をおいていたが、平成21年度より住吉会館の開館に伴い相談室を移転したため、アクセスの問題及び周知が不十分であることで、相談人数が減少したと考えられる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	仕事、健康、子育て・介護、人権、男女平等に関することの調査を行った結果《男女平等参画に関する西東京市民・実態調査報告書(平成20年1月発行)》では、男女の不平等から生じるさまざまな問題、女性であるがゆえの生きづらさが指摘されたため、女性相談の充実が望まれる。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 平成22年度区市町村男女平等参画施策推進状況調査結果から各市実施日・時間帯・相談員の体制等に相違があるため、正確に比較はできないが月曜から土曜日まで開催している市は4市、17時以降相談窓口を開催している市は4市で、当市では、保育にも対応し、仕事を持つ女性にも対応している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 07-04-02	事務事業名 女性相談	所管部課 生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課
-------------------	---------------	--------------------------------

施策コード 創1-3	施策名 男女平等参画社会の推進	施策目標 女性も男性もお互いに認めあい、対等なパートナーとして協力しあうことができる社会をめざします。
---------------	--------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>女性のさまざまな悩み、不安、困りごとを専門の相談員が傾聴し、問題整理のお手伝いを行い、相談者が自らの問題に立ち向かえるようサポートを行っている。配偶者暴力や家族からの虐待など、深刻な相談も増えている。</p> <p>カウンセリングのみならず、必要な情報提供や、本人の意思に基づいて、関係機関との調整、ケースワークも行い、問題解決を共に考えている。地域のつながり、家族の関係が希薄化した中で、問題が放置され重症化することを防ぐセーフティネットの役割を担っていて、潜在的ニーズは高いと思われる。</p> <p>気軽に相談ができることを市報、ホームページに掲載するとともに、案内リーフレットを公共施設等に置いているが、アクセスの問題や、周知が不十分であると思われるため、今後も広報を充実させ、問題点があれば改善をしていきたい。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、ドメスティック・バイオレンス等への対応を図り、それにより家庭や子育てに係る問題を解決するという、社会ニーズに合致した事業と認められる。近年の相談数の減少は、会場へのアクセスや周知方法の問題とのことである。相談数が多いことが良いことだとは思わないが、一人でも多くの人が利用できるよう、市内の公共施設を利用した巡回相談なども検討されたい。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、女性特有の様々な問題を誰でも気楽に相談できる環境を確保するものとして重要である。二次評価における提案も含め、今後とも利便性の向上に努められたい。</p>